

編集後記

■編集委員

委員長

藤田郁代

副委員長

立石雅子

今井智子

内田信也

宇野彰

勝木準

倉内紀子

倉知雅子

佐藤睦子

城間将江

鈴木恵子

関啓子

玉井ふみ

長谷川賢一

春原則子

深浦順一

藤原百合

水田秀子

矢守麻奈

師走の足音が聞こえてくる時期となりました。本年を振り返りますと、まず念頭に浮かぶのは日本大震災から3年半しか経過していないにもかかわらず、わが国は本年も大きな自然災害に見舞われ、多数の方の命が失われたということです。来年は平穏で安らかな年になることを望みます。

本号には、総説「嚥下障害・構音障害に対する補綴装置」と、原著論文として言語発達障害に関する研究、失語症に関する研究、言語聴覚士養成教育に関する研究が、短報として嚥下障害に関する研究が掲載されています。いずれも臨床や教育現場における課題を深く掘り下げたもので、興味深い知見が示されています。

本誌は比較的若い言語聴覚士からの投稿が多く、これはわが国における言語聴覚士の年齢分布を反映しています。本分野では20～30歳代の方が8割弱を占めており、相対的にこの年代の方からの投稿が多い状況になっています。若い方々は思考が柔軟で発想が豊かであるという優れた特質がある一方で、経験が浅いため研究の方法論が十分に身につけていない傾向も少々認められます。本誌では若い年齢層からの投稿を歓迎していますので、査読過程において研究報告の形式を丁寧にお伝えすることも少なくありません。本誌は、査読者の先生のような目に見えない努力に支えられています。

下記に、査読を担当していただいている方をご紹介します(編集委員以外、50音順、敬称略)。阿部晶子、石坂郁代、石毛美代子、内山千鶴子、大伴潔、小嶋知幸、椎名英貴、城本修、中村光、能登谷晶子、前新直志。(藤田郁代)

言語聴覚研究(第11巻 第4号)2014年12月15日発行

Japanese Journal of Speech, Language, and Hearing Research

編集・発行：一般社団法人 日本言語聴覚士協会(会長：深浦順一)

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 6-29 アクロポリス東京 9 階

(☎ 03-6280-7628 FAX 03-6280-7629) <http://www.jaslht.or.jp/>

Published by Japanese Association of Speech-Language-Hearing Therapists (JAS), Acropolis Tokyo 9F, 6-29 Shinogawamachi, Shinjuku-ku, Tokyo, 162-0814, Japan

©2014, Printed in Japan

制作・発売：(株)医学書院(代表：金原 優) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23(振替口座 00170-9-96693 番)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659・5660(FAX 03-3815-7804)

印刷所 (株)アイワード ☎ 011-241-9341(FAX 011-207-6178)

広告申込所 (株)文京メディカル ☎ 03-3817-8036(FAX 03-3817-8044)